

第64期 報告書

2025年4月1日 ~ 2026年3月31日

# HEPHAIST

それは価値を創造する個性ある集団です。

自ら技術と人をつなぎ、世界のステージへ  
Joint・RobotのHEPHAIST

*Connecting people and technologies to the global stage*

*HEPHAIST for Joints and Robotics*

ヒーハリスト株式会社

証券コード：6433



## 第65期経営方針

## 『改善と進歩』

社員全員が

『改善の実感と進歩の実感を得る』

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当社第64期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援に深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における国内経済は、円安基調を背景としたインバウンド需要の拡大により、全体としては緩やかな回復基調を維持しました。一方、金利上昇に伴い資金調達環境は引き締めまりつつあります。

また、原材料価格や物流コストの上昇、サプライチェーンの不安定化に加え、地政学リスクや中国経済の回復遅れなど、外部環境は依然として不透明な状況が続いております。

こうした環境変化に対応するため、当社グループでは、コスト削減の推進に加え、強みを生かした新たな精密部品の受託加工の獲得や、独自技術を活用した自社ブランド製品の販路拡大に取り組んでおります。また、利益率の低い形番についてはスクラップ・アンド・ビルドを実行し、収益力の向上と安定的な収益構造の確立に向けた準備を進めております。

しかしながら、当社グループの主要市場である産業用機械業界の需要回復は、2026年に入っても世界的な設備投資の慎重姿勢が続いている影響で、力強さを欠く状況が続いており、当連結会計年度の経営成績は、売上高は1,636,795千円（前年同期比27.1%減）となりました。

利益面につきましては、直動機器及びレース用部品の売上高減少により、営業損失262,208千円（前年同期は、営業損失121,495千円）、経常損失299,048千円（前年同期は、経常損失189,781千円）となり、当連結会計年度に減損損失413,109千円を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失718,511千円（前年同期は、親会社株主に帰属する当期純損失203,461千円）となりました。

直動機器につきましては、第4四半期では産業用機械業界の需要に回復の兆しが見え始めてきましたが、累計では産業用機械業界の需要回復遅れが影響し、当連結会計年度の売上高は1,058,792千円と前年同期と比べ306,886千円の減少（前年同期比22.5%減）となりました。

精密部品加工につきましては、新たな受託加工の取り込みに努めましたが、レース用部品のレギュレーション変更に伴う影響を受け、売上高は345,699千円と前年同期と比べ334,890千円の減少（前年同期比49.2%減）となりました。

ユニット製品につきましては、半導体関連装置向け案件への対

応によりステージ製品の売上が増加したことに加え、既に実施していた球面軸受の販売価格引き上げの効果が寄与したことにより、売上高は232,303千円と前年同期と比べ33,546千円の増加（前年同期比16.9%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、半導体需要の高まりや人手不足を背景とした自動化ニーズの増加、先端産業分野における精密部品加工需要の継続的な拡大、さらにフィジカルAI（AIを活用したロボット・自動化技術）関連投資の進展などを受け、当社を取り巻く事業環境は総じて回復に向けた動きが続くものと見込まれます。一方で、国際情勢・特に中東情勢の不安定化やエネルギー価格・原材料価格の高騰など、先行き不透明な要因も残されており、事業環境は依然として変動要素を含む状況が続くものと予想されます。

このような事業環境のもと、当社は拡大する自動化ニーズに対応すべく、強化した生産設備の稼働を最大限に活用し、直動機器の生産体制の一層の拡充と販売拡大に取り組んで参ります。また、これまで培ってきた高精度加工技術を基盤として、より付加価値の高い製品群への選択と集中を進めることで、収益基盤の安定化と持続的な成長の実現を図って参ります。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

また、人件費、原材料費、エネルギーコスト等の上昇及び、資材不足等、厳しい事業環境が続くことが想定されます。

当社グループは、このような事業環境の中で、新たな領域への挑戦と固定費・変動費の削減等を推し進め、収益の向上及び経営基盤の強化に努めて参ります。

主な重点方針は以下のとおりであります。

- ① 固定費・変動費の削減等による利益率の向上
- ② 球面軸受をはじめとしたJoint製品の製販強化
- ③ 利益率の高い直動機器の選択と集中による利益改善

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

また、内部留保資金につきましては、財務体質の強化及び将来にわたる安定した株主利益の確保のため、事業の拡大・合理化投資及び厳しい経営環境に勝ち残るための新技術・新工法開発のために有効活用していきたいと考えております。

しかしながら、当事業年度につきましては、業績の向上に鋭意努めて参りましたが、当期の業績を勘案いたしまして、誠に遺憾ながら期末配当につきましては、無配とさせていただきます。

次期の配当につきましては、1株当たり年間2円を実施する予定です。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

2026年6月

## ■ チューリッヒ工科大学へ関節ジョイント提供

当社は、コンピューターサイエンスなどの分野において世界的な権威であるチューリッヒ工科大学のフォーカスプロジェクトである『有能なヒューマノイドロボットを生み出す重点プロジェクト』の「オービットロボティクス」チームの最適な関節ジョイント提供パートナーになりました。

これにより、創業者が抱いていた「スイス製のような精密部品を製造し、海外に輸出して外貨を獲得し、国に貢献する」という夢の実現に向けて、さらに一歩前進することができます。

※ORBIT Roboticsホームページ(<https://www.orbitrobotics.ch>)から「PARTNERS」をご参照いただくと当社ロゴをご確認いただけます。(参照日 2026-06-01)

「当社の技術が関節ジョイントとして使われたヒューマノイドロボット紹介動画」(<https://youtu.be/cqEEX4ct2A0?si=-nUTxHunCQjpeUU2>)



## ■ KyoHA (京都ヒューマノイドアソシエーション) に参画

日本のヒューマノイドロボット産業の再興を目指す新団体として設立された一般社団法人「KyoHA (京都ヒューマノイドアソシエーション)」に参画しました。

当社は、世界初の転がり案内による球面軸受を開発し、ロボット関節への採用実績もあり、今後さらに求められる機能を高めて参ります。

## ■ KyoHA設立の背景

近年、米国の巨大テック企業や、中国のIT・EV・ロボット企業を中心に、ヒューマノイドロボット開発が急速に進展しています。日本はかつてのロボット先進国としての存在感を示していかなければなりません。

加えて、日本国内では自然災害や労働力不足といった社会課題が深刻化しており、ロボティクス技術への期待が高まっています。特に、人間に近い動作性能を持ち、極限環境下でも活動可能な「ヒューマノイドロボット」は、次世代の機械システムとして注目されています。

しかし、AIやソフトウェアの進化が進む中で、ハードウェア領域における国産開発体制や産業としての統合的な取り組みは未整備の状況です。こうした課題を打破すべく、モノづくりの都・京都にて、日本の技術力を結集する新たな産業連携の枠組みとして「KyoHA」が設立されました。

※一般社団法人 京都ヒューマノイドアソシエーション ホームページ(<https://www.kyoha-robot.or.jp/>)から「MEMBER」をご参照いただくと一般会員に当社をご確認いただけます。(参照日 2026-06-01)



## 連結財務諸表 (要旨)

### 連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	64期	63期 (ご参考)
	2026年3月31日	2025年3月31日
資産の部		
流動資産	1,978,782	2,394,514
固定資産	2,160,002	2,613,055
有形固定資産	1,798,247	2,284,053
無形固定資産	6,100	7,175
投資その他の資産	355,654	321,825
資産合計	4,138,785	5,007,569
負債の部		
流動負債	777,162	859,505
固定負債	1,260,445	1,329,427
負債合計	2,037,608	2,188,933
純資産の部		
株主資本	2,052,831	2,777,591
その他の包括利益累計額	48,346	41,044
純資産合計	2,101,177	2,818,636
負債純資産合計	4,138,785	5,007,569

### 連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	64期	63期 (ご参考)
	2025年4月1日から 2026年3月31日まで	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	1,636,795	2,245,026
売上原価	1,439,149	1,911,132
売上総利益	197,645	333,894
販売費及び一般管理費	459,854	455,389
営業損失 (△)	△262,208	△121,495
営業外収益	29,297	9,367
営業外費用	66,137	77,654
経常損失 (△)	△299,048	△189,781
特別損失	414,772	8
税金等調整前当期純損失 (△)	△713,821	△189,790
法人税、住民税及び事業税	3,194	3,534
法人税等調整額	1,496	10,137
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△718,511	△203,461

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	64期	63期 (ご参考)
	2025年4月1日から 2026年3月31日まで	2024年4月1日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー①	△162,811	△183,386
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△25,924	△51,723
財務活動によるキャッシュ・フロー③	30,263	△99,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,253	8,839
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△156,218	△325,746
現金及び現金同等物の期首残高	559,165	884,911
現金及び現金同等物の期末残高	402,946	559,165

### 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

64期 2025年4月1日から 2026年3月31日まで	株主資本				株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	732,552	701,432	1,359,023	△15,416	2,777,591
当期変動額					
剰余金の配当			△6,237		△6,237
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)			△718,511		△718,511
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)					
自己株式の取得				△10	△10
当期変動額合計	—	—	△724,749	△10	△724,760
当期末残高	732,552	701,432	634,273	△15,426	2,052,831
	その他の包括利益累計額				
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		純資産合計
当期首残高	△98	41,142	41,044		2,818,636
当期変動額					
剰余金の配当					△6,237
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)					△718,511
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	727	6,574	7,301		7,301
自己株式の取得				△10	△10
当期変動額合計	727	6,574	7,301	△10	△717,459
当期末残高	629	47,716	48,346		2,101,177

#### 連結貸借対照表のポイント

##### 資産の部

現金及び預金が156,218千円、電子記録債権が300,529千円、減損損失の計上により固定資産が412,922千円、それぞれ減少しました。

##### 負債の部

短期借入金が250,000千円の増加に対して、電子記録債務が133,379千円、長期借入金(1年内返済予定を含む)が145,694千円、支払手形及び買掛金が54,240千円、それぞれ減少しました。

##### 純資産の部

利益剰余金が724,749千円減少しました。

#### 連結損益計算書のポイント

売上高は、直動機器について必要の回復の遅れ、精密部品加工についてレース用品のレギュレーション変更に伴う影響を受けたことが要因で減少しました。さらに、固定資産の減損損失を特別損失に計上したことで、当期純損失となりました。

#### 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

- 仕入債務の減少等により、資金が減少しました。
- 固定資産の取得等により、資金が減少しました。
- 借入金の収入等により、資金が増加しました。

#### 連結株主資本等変動計算書のポイント

純資産は、利益剰余金が減少しました。

# 株式の状況

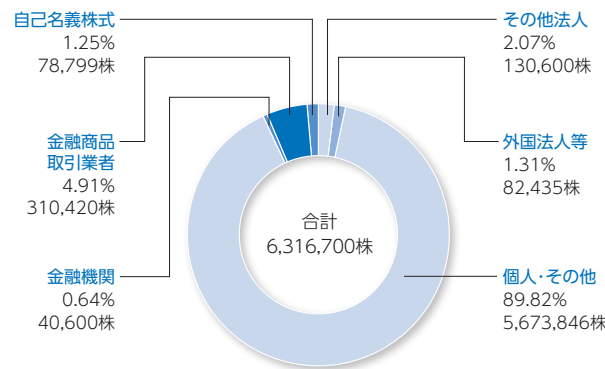
株式の状況 (2026年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 ..... 18,720,000株  
発行済株式の総数 (自己株式78,799株を除く) ..... 6,237,901株  
大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
尾崎 浩太	1,249	20.03
尾崎 文彦	1,173	18.81
株式会社SBI証券	94	1.51
楽天証券株式会社共有口	70	1.13
南 秀嗣	57	0.91
野村證券株式会社	53	0.87
THK株式会社	50	0.80
日本証券金融株式会社	40	0.65
高水 永夫	37	0.59
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	34	0.55

(注) 1. 持株比率は自己株式 (78,799株) を控除して計算しております。  
2. 当社は、自己株式を78,799株保有しておりますが、上記大株主から除いております。  
3. 上記株主の英文名は、(株)証券保管振替機構から通知された「総株主通知」に基づき記載しております。

所有者別株式数 (2026年3月31日現在)



第64期定時株主総会に関するご報告

2026年6月25日開催の第64期定時株主総会における報告内容及び決議内容は、下記のとおりです。

記

### 報告事項

第64期 (2025年4月1日から2026年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

### 決議事項

#### 第1号議案 取締役4名選任の件

本件は、原案どおり取締役として尾崎浩太氏、尾崎文彦氏、佐々木宏行氏、天野雅人氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

#### 第2号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

本件は、原案どおり退任取締役福留弘人氏に対し、当社における所定の基準に従い相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈することとし、その具体的金額、贈呈の時期、方法等は、取締役会に一任することに承認可決されました。

### 株主優待制度

1,000株以上株式を保有していただいた株主様に株主優待品 (QUOカードPay5,000円) を贈呈

※割当基準日 (3月31日) の株主名簿に記載されていることが条件です。6月下旬に発送予定の「株主優待制度のご案内」をご確認いただき9月30日までに引き換えてください。

※お届け先は、割当基準日 (3月31日) の株主名簿に登録されているご住所になります。

※転居等によるご住所の変更は、株式を管理されている口座管理機関 (証券会社等) に速やかにお手続きください。

※引き換え期間を過ぎますと、無効となりますのでご注意ください。

※引き換え後のQUOカードPayには1年間の有効期限がありますのでご注意ください。

※引き換え後のQUOカードPayの使用方法等につきましてはQUOカード公式ホームページをご確認ください。

※第65期 (2027年3月期) 以降は継続保有期間一年以上とし、株主名簿基準日 (3月末日及び9月末日) の株主名簿に同一株主番号で連続3回以上の記載、又は、記録された当該株式数を保有している株主様を対象いたします。

# 会社の概要

会社の概要 (2026年3月31日現在)

社名 ..... ヒーハイト株式会社

本社 ..... 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1

埼玉工場 ..... 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1  
[敷地面積16,677㎡ 建物面積7,997㎡]  
TEL 049-273-7000 (代表)  
FAX 049-273-7001

秋田工場 ..... 〒010-1653 秋田県秋田市豊岩小山字下田454番地1  
(豊岩工業団地内)  
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]  
TEL 018-828-0111  
FAX 018-828-1192

海外 ..... 赫菲(上海)軸承商貿有限公司 (中華人民共和国)

設立 ..... 1962年 (昭和37年) 7月19日

資本金 ..... 732,552,000円

従業員 ..... 84名 (43名)  
※ ( ) 内に臨時従業員年間平均人員を記載しております。

役員 (2026年6月25日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
常務取締役	佐々木 宏行
取締役 (社外)	天野 雅人
常勤監査役	荒井 寿晃
監査役 (社外)	上條 弘
監査役 (社外)	菅野 浩正

株主メモ

事業年度	4月1日~翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合、毎年9月30日)
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
電話	0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
証券コード	6433
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告の方法により行う。
公告掲載URL	https://www.hephaist.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【株式のお手続きに関するお問い合わせ】  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレホンセンター  
(東京) フリーダイヤル 0120-232-711  
受付時間: 土・日・祝祭日を除く 平日9:00~17:00

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
  - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- ※ 本誌には、ヒーハイトの将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。

以上